

事業報告書

平成 28 年度

人間を救うのは、人間だ
Our world. Your move.

日本赤十字社京都府支部

も く じ

写真で見る日本赤十字社京都府支部の活動

は じ め に

ページ

1. 災 害 救 護 活 動	1
2. 赤 十 字 の 各 種 講 習	9
3. 赤 十 字 奉 仕 団	11
4. 青 少 年 赤 十 字	13
5. 医 療 事 業	16
6. 健康相談など医療社会事業	19
7. 看 護 師 の 養 成	19
8. 血 液 事 業	20
9. 国 際 活 動	21
10. 社員(支援者)増強と社資募集	22
11. 赤十字思想の普及・広報活動	24
(資料) 平成28年度の主な行事	27
赤十字大会の開催	
評 議 員 会	
業 務 ・ 会 計 監 査	
表 彰	29
役 職 員 名 簿	30
評 議 員 名 簿	31
地 区 ・ 分 区 一 覧	32
施 設 一 覧	33

写真で見る日本赤十字社京都府支部の活動

○平成28年熊本地震に対する救護活動



避難所での巡回診療の様子



第4班（京都第一赤十字病院）
派遣期間 4月17日～21日



第3班（京都第二赤十字病院）
派遣期間 4月16日～19日



第6班（舞鶴赤十字病院）
派遣期間 4月21日～25日



倒壊した家屋（益城町）

○災害救護体制の充実強化



京都府総合防災訓練（南丹市）



災害救護ロジスティクス合同研修
（府立ゼミナールハウス）



京都府支部管内合同訓練（京丹波町）

○赤十字キャンペーンの実施



まいづる田辺城まつり
赤十字ブースは缶バッジ作成コーナーが人気



ふれあい“やましな”2016区民まつり
～ 子ども救護服を着て記念撮影 ～

○赤十字奉仕団の活動



○講習普及事業等の強化



○青少年赤十字(JRC)の育成強化



JRCリーダーシップ・トレーニングセンター



JRC高校生メンバーによる
献血呼びかけと献血



JRC高校生メンバーによる
平成28年熊本地震災害義援金募集



第4(近畿)ブロック支部JRC国際交流(派遣)



JRCふれあいバスケット

はじめに

赤十字事業の推進につきまして、平素から京都府民の皆様や関係各位の方々から深いご理解と温かいご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年4月に発生しました熊本地震は、観測史上初めて震度7が連続して発生した大災害となり、日本赤十字社では地震発生直後から京都府支部をはじめ全社一丸となって救護活動に取り組みました。その後も台風10号豪雨や鳥取県中部地震、さらに年末の糸魚川市大規模火災などが相次ぎ、その都度、日赤救護班が出動するとともに義援金を募集するという異常な事態に対し、多くの皆様から温かいご支援ご協力をいただきました。

一方、世界各地でも自然災害、紛争、テロ等により人々の生命と尊厳が脅かされる危機的な状況にあり、赤十字の人道支援の役割や期待は大きくなっています。

京都府支部では、人間のいのちと健康、尊厳を守るという日本赤十字社の使命の下、国内の災害救護活動の体制整備、地域の安心安全に資する救急法等各種講習会の普及、地域の中核病院として高品質の医療・保健・福祉サービスの提供、さらには輸血用血液の安全性の向上・安定供給の確保等、人道・博愛を基盤とした赤十字精神に基づき、多くの赤十字ボランティアの皆様のご支援の下、事業を推進しているところであります。

本年は、日赤の前身となる「博愛社」が創設されて140周年となる記念の年にあたります。この間、時代の要請に応えるべく努めてまいりましたが、近年の複雑多様化する社会経済構造の変化に対応するため、各種の事業推進体制の抜本的な見直しとともに平成29年度からこれまでの社員制度を大きく見直したところでございます。

京都府支部におきましてもこの節目の年を契機といたしまして、地域社会の要請に的確に応えるため、赤十字にふさわしい事業の在り方を検討するとともに、高い確率で発生が予想される南海トラフ地震等の大規模災害に備えた支部運営体制の充実整備をはじめ各種事業の推進に努めてまいります。

ここに、平成28年度の事業報告をいたしますとともに、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

平成29年6月

日本赤十字社京都府支部

1. 災害救護活動

(1) 平成28年熊本地震に対する救護活動

①医療救護班の派遣

平成28年4月14日21時26分（前震）、4月16日1時25分（本震）に発生しました熊本地震に対し、日赤京都府支部では本震発生直後の早朝からDMAT（災害派遣医療チーム）3班を派遣、その後も救護班6班や災害医療コーディネートチームなど合計76名の救護員を派遣しました。

主な活動内容として、熊本市内、益城町、南阿蘇村、西原村などでの避難所の巡回診療や救護所の運営、熊本赤十字病院の支援業務や被災された方のこころのケアなどを実施しました。

班	派遣病院等	派遣期間	救護班							計
			医師	看護師	薬剤師等	主事	こころのケア	調整員	特殊救護要員	
1	第一日赤	4/16～4/20	1			2				3
2	第一日赤	4/16～4/20	1	2		1		1（支部）		5
3	第二日赤	4/16～4/19	1	2		2				5
4	第一日赤	4/17～4/21	1	3		2		1（第二）	1	8
5	第二日赤	4/19～4/23	1	3		2		1（支部） 1（血液）		8
6	舞鶴日赤	4/21～4/25	1	3		2		1（支部） 1（第一）		8
7	第一日赤	4/23～4/27	1	3	1	2		1（第一）	1	9
8	第二日赤	4/26～4/30	1	3	1	2		2（第二）		9
9	第一日赤	4/29～5/4	1			2				3
10	第一日赤	5/3～5/7	1	3	1	2	1	1（支部）		9
11	第二日赤	5/3～5/9					2			2
12	舞鶴日赤	5/15～5/21					1			1
13	支部	5/16～5/17						1（支部）		1
14	第二日赤	6/27～7/3		2						2

※ 派遣合計76名（上表の73名のほか、病院支援として3名を派遣しています。）

②義援金の募集

「平成28年熊本地震災害義援金」受付期間

平成28年4月15日（金）～平成30年3月31日（土）

京都府支部の受付状況（平成29年3月31日現在）

201件 9,344万7,380円

③被災地施設の業務支援（職員派遣）

施設名	職種	派遣先	派遣者数
京都第二赤十字病院	医師	熊本赤十字病院	2
	看護師		1

(2) 救護員の体制

災害時、初動期から中長期におよぶ医療救護活動ができるように、京都第一・京都第二・舞鶴の各赤十字病院の医師・看護師等からなる常備救護班（15個班）を編成しています。

また、血液センターでは血液供給班を編成しています。

災害等緊急派遣に対応する救護班要員を次のとおり任命・登録し、活動に備えています。

施設名	医師	看護師	一般職員	その他	合計人数	登録区分
京都府支部	0	1	11	0	12	災害対策本部要員
京都第一日赤	16	25	13	9	63	常備救護班要員
京都第二日赤	6	24	12	6	48	〃
舞鶴日赤	3	9	4	2	18	〃
血液センター	0	0	4	0	4	血液供給要員
〃（福知山）	0	0	2	0	2	〃
合計	25	59	46	17	147	

※ 第一日赤・第二日赤の常備救護班要員には、日本DMAT隊員登録者を含んでいます。

※ 看護師・助産師には、こころのケア要員を含みます。



避難所で巡回診療を行う救護班

(3) 防災ボランティア団体等の状況

赤十字レスキューチェーン京都

阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、医療救護支援活動から物資搬送・炊き出しまでの総合的な救援活動を迅速に行う災害ボランティアを目指して、平成8年1月に発足した「赤十字レスキューチェーン京都」は、有事の際に実働し得るメンバーを確保するためにメンバーの増員を図るとともに、ヘリコプター操縦等の特殊技術を有する個人を防災ボランティアとして登録し、災害救護奉仕活動の基盤づくりに努めています。

赤十字レスキューチェーン京都（支会別会員数 平成29年3月31日現在）

支会名称		団員数
舞鶴支会		5
福知山支会		10
亀岡支会		15
京都支会		22
長岡京支会		14
宇治支会		15
個人	一般防災ボランティア登録	75
	救援ヘリコプター登録	2
合計		158

また、災害初動期の医療救護活動の支援体制をより強固にするため、団員のうち所定の基準を満たす者を本社規程に基づく特殊救護要員に登録し有事に備えています。

平成28年度特殊救護要員登録者数	24
------------------	----



災害救護ロジスティクス合同研修でテント設営

(4) 救護員等の訓練、研修

京都府や京都市など行政機関が実施する総合防災訓練等への参加や、赤十字独自の救護訓練を実施するなど、実践的な訓練や研修に積極的に取り組んでいます。

①各種防災救護訓練の参加実績（ボランティア派遣人員を含む）

訓練名称	実施日	会場	参加者数
高浜地域における内閣府・3府県及び関西広域連合同原子力防災訓練	8/27	京丹波町 (丹波自然運動公園他)	8
京都市総合防災訓練	9/3	京都市下京区(梅小路公園)	30
京都府総合防災訓練	9/4	南丹市 (園部公園スポーツ広場)	32
福知山市地域防災訓練	9/4	福知山市 (由良川河川敷)	19
宇治市総合防災訓練	9/4	宇治市 (京都文教学園・宇治キャンパス)	7
長岡京市防災訓練	11/20	長岡京市 (長岡第五小学校)	7
支部管内合同訓練	11/27	京丹波町 (丹波自然運動公園)	48
京都刑務所総合防災訓練	12/2	山科区 (京都刑務所)	8
伏見区防災訓練	12/18	伏見区 (美豆小学校)	3
京都府国民保護共同実働訓練	2/2	東山区 (第一日赤)	2
合 計			164

②職員等救護員を対象とした教育研修実績

研修会の名称	実施日	会場	参加者数
救護班要員基礎研修	8/11	京都第一赤十字病院	86
救護員としての赤十字看護師研修 (救急法)	7/9, 8/19~21	京都第二赤十字病院	35
災害救護ロジスティクス合同研修	10/15~16	京都府立ゼミナールハウス	30
救護員としての赤十字看護師研修 (こころのケア研修)	10/19	舞鶴赤十字病院	11
日赤災害医療コーディネーター研修会 (第1回)	11/23~24	本社	2
第4ブロック合同原子力災害対応基礎研修会	11/26	大阪府支部	6
救護員としての赤十字看護師研修 (救急法)	11/18~20	舞鶴赤十字病院	13
京都府原子力災害時医療講習会	1/15	舞鶴赤十字病院	1
全国赤十字救護班研修会 (第4回)	1/21~23	本社	8
救護員としての赤十字看護師研修 (こころのケア研修)	3/4	京都第一赤十字病院	32
合 計			224

③救護体制の検討等に関する会議

会議の名称	実施日	会場	参加者数
支部救護員指導者協議会	7/12	京都府支部	14
支部救護員指導者協議会	11/21	京都府支部	16
第4ブロック救護員指導者協議会	12/12	丹波自然運動公園	63
支部救護員指導者協議会	2/22	京都府支部	17
第4ブロック救護員指導者協議会	3/9	京都第一赤十字病院	67
合 計			177

(5) 防災啓発講座

日頃から災害に対する認識を新たにさせていただき、非常時に対する準備やこころ構えなどを紹介し、赤十字の災害時における活動を知ってもらうために「赤十字地域防災セミナー」を開催しています。本セミナーは、赤十字の地域啓発の一つとして位置付けており、日赤地区・分区や各社会福祉協議会・各自治会などで積極的に開催していただきました。

赤十字地域防災セミナー

実施日	内容	対象	会場	参加者
6/8	災害時、高齢者生活支援のために	日赤京丹後市地区	芋野公民館	51
6/22		日赤京田辺市地区	京田辺市北部住民センター	23
3/25		日赤宮津市地区	城東会館	22
合 計				96



地域防災セミナーにて毛布を利用してガウンを作成

(6) 救護、救援活動派遣実績

災害救護、救援活動のため救護班等を派遣しました。また、災害の発生が予想される際の警戒態勢はもちろんのこと、地域のイベントなどでの事故の発生に対応するため、医師、看護師等を派遣しています。

①災害救護、救援活動の派遣実績（再掲）

内 容	実 施 日	場 所	派遣人員
平成28年熊本地震・DMAT派遣（先遣隊）	4/16～20	熊本県熊本市	3
平成28年熊本地震・DMAT派遣（2班）	4/16～20	熊本県熊本市	5
平成28年熊本地震・DMAT派遣（3班）	4/16～19	熊本県熊本市	5
平成28年熊本地震・救護班派遣（1班）	4/17～21	熊本県益城町	8
平成28年熊本地震・救護班派遣（2班）	4/19～23	熊本県熊本市	8
平成28年熊本地震・救護班派遣（3班）	4/21～25	熊本県嘉島町	8
平成28年熊本地震・救護班派遣（4班）	4/23～27	熊本県御舟町	9
平成28年熊本地震・救護班派遣（5班）	4/26～30	熊本県南阿蘇村	9
平成28年熊本地震・災害医療コーディネイトチーム派遣	4/29～5/4	熊本県支部	3
熊本赤十字病院業務支援派遣①	4/30～5/6	熊本赤十字病院	1
平成28年熊本地震・救護班派遣（6班）	5/3～7	熊本県南阿蘇村	9
こころのケア指導者派遣①	5/3～9	熊本県西原村	2
熊本赤十字病院業務支援派遣②	5/10～16	熊本赤十字病院	1
熊本赤十字病院業務支援派遣③	5/11～25	熊本赤十字病院	1
こころのケア指導者派遣②	5/15～21	熊本赤十字病院	1
平成28年熊本地震・資機材撤収	5/16～17	熊本県支部	1
被災者健康支援事業派遣	6/27～7/3	熊本県西原村	2
合 計			76

②イベント等への救護員の派遣実績（ボランティア派遣人員を含む）

内 容	実 施 日	場 所	派遣人員
亀岡平和祭花火大会	8/7	亀岡市（保津川河川敷）	18
宇治川マラソン	2/26	宇治市（太陽ヶ丘一帯）	30
合 計			48

(7) 警戒本部等運用実績

種別	回数 (延べ)	従事人数 (延べ)
熊本地震に対する災害対策本部	1	19
地震に対する警戒本部運用 (熊本地震を除く)	3	13
風水害に対する警戒本部運用	0	0
合 計	4	32

(8) 救護資機材の整備

災害救護に必要な救護関係資機材は、移動手段として最も重要な車両整備をはじめ、最新の通信系機器やその他資機材の整備に努めました。

今後も、災害救護活動が迅速かつ円滑に展開できるよう、より一層、資機材の充実を図ることとしています。

資機材品目		保有数量	備 考
救護車両	大型救急車	1	特殊救急車
	救急車	4	支部、第一、第二、舞鶴の各病院に常置
	装備車 (トラック)	2	
	その他の救援車両	5	
除染	除染設備 (テント)	2	除染設備一式、特殊防護服 4着は舞鶴に常置※
	特殊防護服 (レベルC)	18	
テント	エアー	3	
	パラソル	58	27張は地区・分区に配備
	パイプ2×3間	82	66張は地区・分区に配備
	パイプ3×3間	2	
	ドラッシュテント	3	
医療セット		3	第一、第二、舞鶴の各病院に常置
除細動器 (AED 8台を含む)		13	3台のAEDは救急車搭載用
発動発電機		14	
担架 (特殊を含む)		28	
衛星通信機器 (車載用2台を含む)		9	支部、第一、第二、舞鶴の各病院に衛星回線 (インターネット) を使用した基地局 (IPSTAR) を開設
無線機	150MHz	42	
	410MHz	29	
	簡易業務無線	7	京都DMATとの通信用

※ この他に、除染設備 (テント) 一式及び特殊防護服 (レベルC) 4着が京都第一、京都第二赤十病院のそれぞれに京都府から貸与されています。

(9) 災害救護用備蓄倉庫

地 域	設 置 場 所	形 状
京都市	日本赤十字社京都府支部内	敷地内倉庫等
	京都第二赤十字病院所有地内	建物内
	日赤京都救護活動センター内	建物内
府北部	舞鶴赤十字病院敷地内	2階建独立建物
	京都府赤十字血液センター福知山出張所内	コンテナ倉庫
	綾部市消防本部敷地内	コンテナ倉庫
	亀岡市役所地下2階	庁舎内倉庫
府南部	宇治市職員会館敷地内	コンテナ倉庫
	城陽市消防本部敷地内	コンテナ倉庫
	長岡京市スポーツセンター内	コンテナ倉庫
	精華町消防本部敷地内	コンテナ倉庫

(10) 救援物資の配布と備蓄

南北に長い京都府の地理的条件から、災害時に即応するため、救援物資である毛布・緊急セットを府内全市町村の赤十字地区・分区に備蓄しているほか、災害救護用分置倉庫に救護資材及び救援物資を備蓄しています。

①救援物資の配布状況 (京都府内分)

被害区分	被災世帯及び人員		毛布配付数	緊急セット配付数
	世帯数	人 員		
住家全焼	15	43	48	18
住家全壊	0	0	0	0
住家流出	0	0	0	0
住家半焼	11	18	13	11
住家半壊	0	0	0	0
住家床上浸水	0	0	0	0
避難所	1	1	2	1
その他	5	10	8	5
合計	32	72	71	35

②救援物資の備蓄状況

場 所	毛布 (枚数)	緊急セット
支部等の倉庫	7, 173	3, 090
地区・分区	757	469
合計	7, 930	3, 459

(1 1) 災害死亡見舞金の贈呈

火災などの災害により死亡された11名の方の遺族に、地区・分区を通じて見舞金を贈りました。

(平成29年3月31日現在、京都府支部に申請のあった分)

9件 10名 200,000円 (1名 20,000円)

(1 2) 国内災害義援金

(平成29年3月末日)

	京都府支部		全国(募金総額)
	件数	金額(円)	金額(円)
東日本大震災	39	22,572,499	1,721,278,595
平成28年熊本地震災害	201	93,447,380	28,093,018,410
平成28年台風10号等災害	10	37,400	379,647,182
平成28年鳥取県中部地震災害	12	89,274	152,720,032
平成28年新潟県糸魚川市大規模火災	8	27,620	133,211,721
合 計	270	116,174,173	30,479,875,940

※全国(募金総額)の金額は「速報値」

※東日本大震災義援金：平成23年受付開始からこれまでの累計額は、3,389億9,279万1,191円

2. 赤十字の各種講習

不慮の事故や急病に対する応急手当の方法や、家庭内での病気の予防や看護の方法などの知識と技術を身につけ、一人でも多くの方々に健康で幸せな生活を送っていただくために、救急法・水上安全法・健康生活支援講習・幼児安全法の講習を府内各地で実施したほか、講習の指導にあたる指導員の養成にも努めました。その実施状況は次のとおりです。

講習区分	資格講習						短期講習		合 計	
	基礎講習		救急員等養成講習		救急員等資格継続研修		回数	人数	回数	人数
	回数	人数	回数	人数	回数	人数				
救 急 法	31	1,298	13	335	4	140	57	2,257	105	4,030
水上安全法			5	62	2	18	4	115	11	195
健康生活支援講習			2	17	1	6	42	806 (262)	45	829
幼児安全法			2	31	1	15	47	914	50	960
合 計	31	1,298	22	445	8	179	150	4,092	211	6,014

※この他に、雪上安全法の講習もありますが、京都府支部では実施していません。

※()内は、災害時高齢者生活支援講習の受講者数

(1) 救急法等 (救急法・水上安全法)

①指導体制

講習名	支部職員	管内施設職員	ボランティア	合計人数
救急法	6	53	78	137
水上安全法	0	0	18	18

②講習指導員関係研修会

研修会の名称	実施日	会場	参加者数
救急法・水上安全法指導員合同研修会	6/12	京都府支部	32
〃	6/14	京都府支部	20
救急法指導員研修会 (第二日赤職員対象)	6/15	京都第二赤十字病院	6
救急法・水上安全法指導員合同研修会	6/17	京都府支部	13
〃	6/18	京都府支部	12
救急法指導員研修会 (第二日赤職員対象)	6/23	京都第二赤十字病院	9
〃	6/24	京都第二赤十字病院	4
救急法指導員研修会 (第一日赤職員対象)	8/15	京都第一赤十字病院	19
救急法講師研修会	11/29	本社	2
合 計			117

(2) 健康生活支援講習等 (健康生活支援講習・幼児安全法)

①指導体制

講習名	支部職員	管内施設職員	ボランティア	合計人数
健康生活支援講習	1	17	4	22
幼児安全法	3	17	4	24

②講習指導員関係研修会

研修会の名称	実施日	会場	参加者数
赤十字幼児安全法指導員研修	7/15	京都第一赤十字病院	9
第4ブロック赤十字健康生活支援講習指導員研修会	12/13	大阪赤十字会館	12
赤十字健康生活支援講習・幼児安全法指導員研修会	2/13・24・27	舞鶴赤十字病院	5
赤十字健康生活支援講習指導員研修	2/21	京都府支部	11
赤十字幼児安全法指導員研修	2/21	京都府支部	14
合 計			51

3. 赤十字奉仕団

赤十字奉仕団は、赤十字の基盤となるべき重要な奉仕者の組織として、赤十字事業の推進を図るうえで欠くことのできない存在です。奉仕団の活動は、それぞれの地域に即した奉仕活動を行うために組織されたもので、日本赤十字社の地区・分区を中心として、一定の地域を単位として結成されています。

各奉仕団は、それぞれの特性を生かし、赤十字思想の普及・活動資金の募集・献血の推進・災害時に備えた救援活動や各種奉仕活動を行っています。

(1) 奉仕団登録状況

区 分	団数	分団数	人 数	備 考
地域奉仕団	14	220	2,793	京都市11、綾部市1、舞鶴市1、城陽市1
青年奉仕団	3	—	267	赤十字京都ユース28名 京一・京二看護学生奉仕団239名
特殊奉仕団	2	—	99	赤十字レスキューチェーン京都（個人登録を除く） 81名、青少年赤十字賛助奉仕団 18名

(2) 奉仕団活動状況

①赤十字レスキューチェーン京都

行 事 名	実 施 日	会 場	参加者数
亀岡平和祭花火大会	8/7	亀岡市保津川河川敷	15
福井県坂井市赤十字奉仕団春江分団の支部訪問にかかる交流会	10/14	京都府支部	4
宇治福祉まつり	11/6	宇治市総合福祉会館	8
宇治川マラソン	2/26	宇治市（太陽ヶ丘一帯）	21
合 計			48



宇治福祉まつりにてAED体験コーナー



福井県坂井市赤十字奉仕団春江分団との交流会

②赤十字京都ユース(RCY)

行 事 名	実 施 日	会 場	参加者数
赤十字運動月間キャンペーン	5/8	ポルタプラザ	6
ユース21京都総会	6/17	京都YMCA	4
第4ブロック代表者会議・基礎研修会	6/26	日本赤十字社大阪府支部	5
HIV/AIDSピア・リーダー養成研修会	8/19～20	国立オリンピック記念青少年センター	1
赤十字ボランティア・リーダー研修会	8/20～22	国立オリンピック記念青少年センター	1
AIDS文化フォーラムin京都	10/1～2	同志社大学新町キャンパス	6
AIDS文化フォーラムin陸前高田	11/20	陸前高田市コミュニティホール	1
青年赤十字奉仕団第4ブロックリーダー養成研修会	11/19～20	大阪府羽衣青少年センター	1
平成29年京都市成人の日記念式典	1/9	京都市歓業館「みやこめっせ」	4
第4ブロック協議会臨時代表者会議	2/19	大阪府支部	2
全国車いす駅伝競走大会	3/11～12	京都市内各所	58
合 計			89

※その他に青少年赤十字事業に参加しているほか、毎月1回例会を開催。

③青少年赤十字賛助奉仕団

行 事 名	実 施 日	会 場	参加者数
京都府青少年赤十字賛助奉仕団総会	6/22	白沙村荘（京都市左京区）	9
全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会総会	7/1～2	本社	2
第4ブロック支部青少年赤十字賛助奉仕団交流研修会	10/28～29	ホテルリガール春日野、他（奈良市）	5
合 計			16

(3) 施設奉仕活動状況

奉仕団名	活動場所（活動内容）	活動延日数	活動延人数
南区奉仕団婦人部	京都第一赤十字病院及び看護専門学校	78	289



全国車いす駅伝にて選手をサポートするRCYメンバー

4. 青少年赤十字 (JRC)

将来を担う青少年の一人ひとりが、世界的視野とたくましい行動力をもって、世界の平和と人類の福祉に貢献できるような人間に育ててほしいということはみんなの願いです。

青少年赤十字は、青少年が赤十字の精神を理解し、日常生活の中で望ましい人格を作りあげるよう学校教育の中で先生が指導者となって進められています。

(1) 加盟校とメンバー数

区 分	幼稚園・保育園	小学校	中学校	高 校	合 計
加盟校数	17	192	5	12	226
メンバー数	999	70,241	2,237	86	73,563

(2) トレーニング・センター参加状況

対 象	実 施 日	会 場	参加校数	参加者数
小学生の部	8/6~8	アクトパル宇治	42	76
中学生の部			13	18
高校生の部			6	26
合 計			61	120

※京都府青少年赤十字指導者、RCY、京都府青少年赤十字賛助奉仕団及び赤十字職員（京都第一赤十字病院、京都府赤十字血液センター、京都府支部）がスタッフとして参加。



JRCリーダーシップトレーニング・センター

(3) 国際交流事業の実施

内 容	実 施 日	交 流 国	派 遣 者
派遣	8/16～22	マレーシア	メンバー11名、指導者3名、職員3名 (うち、京都からメンバー1名を派遣)

本年度は、大阪府支部が事務局となり近畿の6府県（滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山）支部が合同で派遣を実施。

クアラルンプール：マレーシア赤新月本社、IFRCを訪問。

ジョホールバル：学校訪問、ホームステイなどを通して交流。

(4) 青少年赤十字モデル事業

テ ー マ	会 場
「健康安全」「奉仕」 青少年赤十字 気づき・考え・実行する～自覚的実行力～育成事業 よりよい生き方を実現しようとする子どもの育成	京都市立静原小学校
「健康安全」「奉仕」 近畿ブロック血液センターの見学・学習会 『KIZUNA』WORLDの見学と所長の講演会 製剤作業室と 検査室の見学	華頂女子高等学校

(5) 防災教育プログラム

①防災学習の取り組みについて（京都府支部確認分）

実施校	実施日	内 容
赤十字運動月間キャンペーン	5/8	「まもるいのち ひろめるぼうさい」の歌の披露
京都府青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター	8/6～8	小学4年生～6年生・中学生：いえまですごろく 高校生：避難所HUG
防災キャンプ2016 in京都	9/17	小学5年生以上の京都府民：いえまですごろく
京都市立嵐山東小学校	1月中	校内で防災学習を実施するため、防災教育プログラム 「まもるいのち ひろめるぼうさい」テキスト貸出し
京田辺市立松井ヶ丘小学校	1/19	P T A役員他：災害に備える
京都市立音羽小学校	2/22	4年生：災害時シミュレーション
高校生メンバー協議会	3/11	いえまですごろく

②防災のうた「まもるいのち ひろめるぼうさい」DVDを作成

京都府青少年赤十字賛助奉仕団の協力により防災のうたを作成。

赤十字が関わるイベント等で歌を披露するほか、DVDを京都府青少年赤十字加盟校、全国の支部及び各市区町村に設置された赤十字の窓口（地区・分区）に配布。

(6) 活動状況

行事名	実施日	会場	参加者数
京都府青少年赤十字指導者協議会役員会	4/20	京都府支部	13
第1回京都府青少年赤十字高校生メンバー協議会	4/23	京都第一赤十字病院	43
京都府青少年赤十字指導者協議会総会	5/13	京都市総合教育センター	15
第4ブロック支部青少年赤十字国際交流事業 第1回事前研修会	5/15	大阪府支部	3
第4ブロック支部青少年赤十字指導者協議会	6/2	滋賀県支部	2
第4ブロック支部青少年赤十字国際交流事業 第2回事前研修会	6/12	大阪府支部	3
第2回京都府青少年赤十字高校生メンバー協議会	6/19	京都府支部	33
全国青少年赤十字指導者協議会総会・研修会	6/30～7/1	本社	1
第4ブロック支部青少年赤十字指導者研修会	6/25～26	KKRホテルびわこ (滋賀県)	1
第2回京都府青少年赤十字指導者協議会役員会	7/4	京都府支部	19
第4ブロック支部青少年赤十字国際交流事業 第3回事前研修会	7/10	大阪府支部	4
京都府青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター事前研修会	7/26	京都府支部	27
京都府青少年赤十字高校生メンバー対象赤十字救急法 講習会	8/1	京都府支部	25
第4ブロック支部青少年赤十字国際交流事業 第4回事前研修会	8/10～11	大阪府支部	3
防災キャンプ2016 in 京都	9/17、18	京田辺市社会福祉センター	6
第4ブロック支部青少年赤十字国際交流事業事後研修会	9/22	大阪府支部	2
京都府青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター事後研修会	10/11	京都府支部	17
青少年赤十字国際交流事業 「JRC/RCY International Meeting, “TOKYO2016”	11/3～6	国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都)	3
第3回京都府青少年赤十字高校生メンバー協議会	11/19	京都府支部	27
「NHK海外たすけあい」街頭啓発募金キャンペーン	12/10	京都市下京区	26
子ども体験教室(ふれあいバスケット)	12/17	京都市立光徳小学校	48
青少年赤十字指導主事研究会	1/11～12	本社	2
青少年赤十字教育研究会主催授業研究会	2/22	京都市立音羽小学校	11
第3回京都府青少年赤十字指導者協議会役員会	3/3	京都府支部	12
第4回京都府青少年赤十字高校生メンバー協議会	3/11	京都府支部	32
青少年赤十字スタディー・センター	3/22～27	東照館(山梨県)	2
合 計			380

5. 医療事業

京都第一、京都第二及び舞鶴赤十字病院は地域における中核医療機関として地域医療に積極的に貢献しており、昨今の医療情勢は厳しい状況にありますが、医療の質の向上並びに医療設備の充実強化を図り、経営の安定と機能の充実に努めております。

更に、赤十字病院の使命に鑑み、日頃から医師や看護師等を救護班要員として登録し、災害発生時には、救護班要員を被災地に緊急派遣するなど、迅速な医療救護活動が展開できる体制を取っています。

① 京都第一赤十字病院

長期にわたった全面改築整備工事も平成27年9月の立体駐車場の完成で終了いたしました。この間、患者さんには長い間、ご不便をおかけいたしました。駐車可能台数は165台で、基本有料での利用としておりますが、患者さんには3時間まで無料扱いでご利用いただけます。



京都第一赤十字病院

平成27年度の医療機器の整備は、厳しい経営環境の中ではありますが、高度な検査・治療を必要とする患者さんのニーズに応えるため、「デジタルマンモグラフィシステム」「画像検像システム」を更新いたしました。また、補助金を受け「新生児用人口呼吸器2台」

「保育器4台」を整備いたしました。これにより、より適切な医療を効率的に提供する体制がさらに強化されることとなりました。

工事が終わり施設・設備面が整ったこれからは、平成24年度以来、継続して指定を受けている高診療密度病院群（Ⅱ群）を生かし、更に高度急性期医療を担う中核病院として、地域の中心となり、地域医療に取り組んでまいります。

そのためには、全職員が一丸となって協力し、それぞれの部署で創意工夫し、地域の皆さんの期待に応えられる病院を目指したいと考えております。

② 京都第二赤十字病院

平成27年度に実施した耐震補強工事を経て、既存施設を最大限に活用した高度急性期医療を推進していくため、平成28年度は様々な取組をしてまいりました。

薬剤師等コメディカルの専門職が24時間・365日対応する業務体制の整備や救急部門での看護体制の強化を初め、脳卒中既往患者の再発予防外来の新設、入院から退院・転院への適切な移行を支援するために専任の看護師や医療社会事業司の配置を充実し、患者さんや家族の方々等にきめ細かく対応することや、理学療法士等による手術後の早期機能訓練支援の強化、薬剤師による病棟での服薬指導やがん治療患者さんへの個別専門的な服薬に係る相談・指導の取組など、患者さんに寄り添う

という視点に立って、医療機能の充実を図り、地域の皆様により一層信頼いただける病院となるよう努めてきたところです。

その結果、平成 28 年度におきましては、入院患者数も対前年度比で大きく増加し、高度で専門的な手術件数の増加、府内で最高レベルとなる救急車搬入 7 5 0 0 件など、高度急性期医療を担う本院としての役割を順調に果たしてきたと自負しております。

引き続き、経営的には厳しい状況が続いていますが、老朽化・狭隘化した建物を多く抱える本院として、改築整備は、最優先課題であり、早期実現に向け、来院される患者さん等の期待に応える医療を提供しつつ、健全経営に努めながら、一日も早く病院整備が実現できるよう全職員が一丸となって取り組んでまいりたい決意です。



京都第二赤十字病院

③ 舞鶴赤十字病院

平成28年度は、質の高い医療を提供し続けられるようDPC制度を導入し、更なる経営改善を図ることができました。

また、地域にマッチした病床再編を行ってきた結果、急性期⇒回復期⇒慢性期⇒在宅へとシームレスな医療提供が出来、医療サービスの向上を図ることができました。

更に、2年前に整備しました回復期リハ病棟においては、他の医療機関からも紹介患者が増加したこともあり、高い稼働率（87%）を維持することができ、地域医療に大きく貢献できています。

今後も、バランスのとれた医療機能の分化と連携を推進し、赤十字病院としての特色を十分に発揮し、存在感を高め、地域のニーズにあった医療を提供できるよう努めてまいります。



舞鶴赤十字病院

医療施設の概要

	病床数		診療科目	職員数（人）				入院患者数（人）		外来患者数（人）	
	許可	稼働		医師	看護師	他	計	延数	一日平均	延数	一日平均
京都第一赤十字病院	666	612	総合内科、リウマチ内科、糖尿病・内分泌内科・血液内科、消化器内科、循環器内科、脳神経・脳卒中科、呼吸器内科、腎臓内科・腎不全科、外科、乳腺外科、小児外科、呼吸器外科、形成外科、心臓血管外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、小児科、新生児科、産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、泌尿器科、精神科(心療内科)、放射線診断科、放射線治療科、歯科口腔外科、麻酔科、救急科、リハビリテーション科、緩和ケア内科、化学療法部、救命救急センター、総合周産期母子医療センター、病理診断科	238	696	291	1,222	186,927	512	319,296	1,314
京都第二赤十字病院	676	639	総合内科（内科）、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、血液内科、糖尿病内分泌・腎臓・膠原病内科、脳神経内科（神経内科）、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、気管食道外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、こころの医療科（精神科）、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、歯科口腔外科、麻酔科、救急科	215	676	324	1,215	188,927	518	336,730	1,386
舞鶴赤十字病院	198	198	内科・消化器内科・神経内科・小児科・外科・整形外科・皮膚科・泌尿器科・眼科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科	21	139	113	273	58,448	160	105,954	438

注) 病床数・職員数は平成29年3月31日現在、患者数は平成28年度実績

6. 健康相談など医療社会事業

各赤十字病院においては、生活困窮者等の医療援護、訪問看護、検診活動、健康診断などの各種医療社会事業を実施し、併せて社会福祉団体等の依頼により、医師、看護師等の派遣事業を実施しています。

区 分	件 数	延日数	延派遣職員			
			医 師	看護師	その他	計
京都第一赤十字病院	3	3	5	4	1	10
京都第二赤十字病院	10	13	7	16	1	24
舞鶴赤十字病院	5	5	0	5	0	5
合 計	18	21	12	25	2	39

7. 看護師の養成

日本赤十字社の看護師養成は、120余年を超える歴史を有し、看護に関する幅広い能力を備えた赤十字看護師として、保健医療活動をはじめ災害救護活動、国際救援活動など広く社会に貢献できる人材の育成を行っています。

京都府支部における養成状況は次のとおりです。

(1) 養成施設及び学生数（平成29年3月1日現在）

学 校 名	1 年	2 年	3 年	合計人数
京都第一赤十字看護専門学校	44 (3)	45 (2)	40 (4)	129 (9)
京都第二赤十字看護専門学校	43 (3)	27 (2)	39 (5)	109 (10)
合 計	74 (4)	78 (10)	78 (4)	230 (18)

() は男子学生の内数です。

(2) 進路等の状況（平成28年度）

学 校 名	本 院	進 学	その他	合計人数
京都第一赤十字看護専門学校	32	3	5	40
京都第二赤十字看護専門学校	31	0	6	37
合 計	58	5	12	75

8. 血液事業

献血者の皆様をはじめ、献血推進にご尽力いただいた府民、並びに各種団体のご理解とご協力を得て、平成28年度献血者数は107,810人となり、管内医療機関への輸血用血液製剤の供給が滞りなく行われました。

また、広く府民の皆様に献血へのご理解を深めていただき継続的なご協力を呼び掛けるために、さまざまなキャンペーンやイベントを行うとともに、複数回献血協力者の確保や若年層をはじめとする幅広い年齢層への献血の普及啓発を図っています。

(1) 平成28年度 献血状況

献血方法別	京都府		全国	
	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)
成分献血	30,428	28.2	1,403,515	29.1
400mL献血	76,136	70.6	3,268,707	67.7
200mL献血	1,246	1.2	156,950	3.2
合計	107,810	100.0	4,829,172	100.0

(2) 平成28年度 供給状況 (単位換算)

製剤別	京都府		全国	
	本数(本)	構成比(%)	本数(本)	構成比(%)
全血	0.0	0.0	94.0	0.0
赤血球	142,920.0	30.5	6,419,208.0	34.4
血漿	92,581.5	19.7	3,149,568.5	16.9
血小板	233,269.0	49.8	9,092,122.0	48.7
合計	468,770.5	100.0	18,660,992.5	100.0

※単位換算とは、200mL献血由来を1単位として換算したものの。

(3) 若年層献血者確保対策

今後の輸血医療を支えていただく若年層の方々に将来にわたって献血へご協力いただくため、若年層、特に青少年(小中高生)を中心に、夏休み期間等を利用し、「青少年献血ふれあい事業」を実施しました。

また、「献血セミナー」も高校・大学で積極的に開催し、将来の献血者確保に努めています。

献血者が減少しがちな冬季においては、安全な血液製剤を安定的に確保するため、1～2月に「はたちの献血キャンペーン」が全国的に展開されました。京都府でも、京都府学生献血推進協議会メンバーが、将来の献血を支える「はたち」の若者を中心に広く府民に献血への理解と協力を求めました。

9. 国際活動

日本赤十字社は、国際赤十字の一員として世界各国の赤十字社・赤新月社190社やジュネーブにある赤十字の国際機関とともに国際救援活動を行っています。

各国の赤十字社はお互いに協力しあいながら活動を続けていますが、京都府支部としても救援金の受付や救援事業等を行いました。

(1) 海外救援金

①海外救援金

(平成29年3月末日)

	京都府支部		全国 (募金総額)
	件数	金額 (円)	金額 (円)
中東人道危機	3	7,000	38,422,025
2016年エクアドル地震	0	0	88,533,074
2016年イタリア中部地震	0	0	49,737,879
2016年ハイチハリケーン	1	1,000	31,984,349
合計	4	8,000	208,677,327

※全国 (募金総額) の金額は「速報値」

※中東人道危機救援金：平成27年受付開始からこれまでの累計額は、8,555万7,162円

②「第34回NHK海外たすけあい」寄付金 (期間 平成28年12月1日～25日)

取扱窓口	京都府 (円)	全国 (円)
支 部	715,404	48,479,184
N H K	403,687	32,610,199
銀 行 等	261,364	21,230,965
本社(郵便局含む)		533,508,771
合 計	1,380,455	635,829,119

(2) 第4ブロック支部国際活動参加事業

ケニア赤十字社が地域保健強化事業として進めている (1) 住民の健康促進にかかる行動変容を図る事業 (2) 保健医療サービスにかかるシステム強化支援事業 (3) ケニア赤十字社イシオロ県支部の事業実施基盤の整備事業の3項目を重点とした5ヵ年計画を支援するため、第4ブロック支部合同で支援事業を実施 (京都府支部支出額100万円)

10. 社員（支援者）増強と社資募集

日本赤十字社は、赤十字の基本理念である人道の精神に基づき、国内はもとより全世界の平和と福祉の増進のため、各種の事業活動をたゆみなく続けていますが、これら活動のための事業資金は、赤十字運動の支援者の皆様から寄せられる活動資金が財源となっています。

毎年、5月の「赤十字運動月間」を中心に、府民の皆様のご支援に加え、地区・分区をはじめ、赤十字奉仕団、協賛委員、有功会等関係者の積極的なご協力をいただいたところ、活動資金収納目標額である2億9,900万円を上回る324,955,513円のご協力をいただき、対前年度比は105.4%となり、前年度実績を上回りました。

なお、本社において実施いたしております口座振替やクレジットカード決済による活動資金募集につきましては、1,581件11,520,317円のご協力があり、ご協力いただいた方が居住されている地区の実績額に加算しております。

またダイレクトメールによる活動資金募集においては、976件16,105,583円のご協力がありました。

今後とも、時代に見合った参加しやすい環境を整備し、一層皆様のご理解を得て、社員（会員）の増強と社費（会費）の増収に向け取組みを推進していく必要があります。

(1) 社員（会員）数

区分	平成28年度			平成27年度			対前年比較			
	個人	法人	計	個人	法人	計	個人	法人	計	
地区 区 級	京都市	46,305	596	46,901	49,368	516	49,884	-3,342	70	-3,272
	府内14市	27,525	60	27,585	28,486	62	28,548	-1,064	-6	-1,070
	府内町村	4,930	33	4,963	5,963	32	5,995	-1,054	0	-1,054
	小計	78,760	689	79,449	83,817	610	84,427	-5,460	64	-5,396
支部扱い	803	205	1,008	679	142	821	124	63	187	
合計	79,563	894	80,457	84,496	752	85,248	-5,336	127	-5,209	

(2) 活動資金収納額

区分	収納額(円)	
一般	社費（会費）	105,812,922
	寄付金	181,467,259
	指定事業寄付金	6,000,000
	小計	293,280,181
法人	指定事業社資	4,300,000
	その他法人社資	27,375,332
	小計	31,675,332
合計	324,955,513	

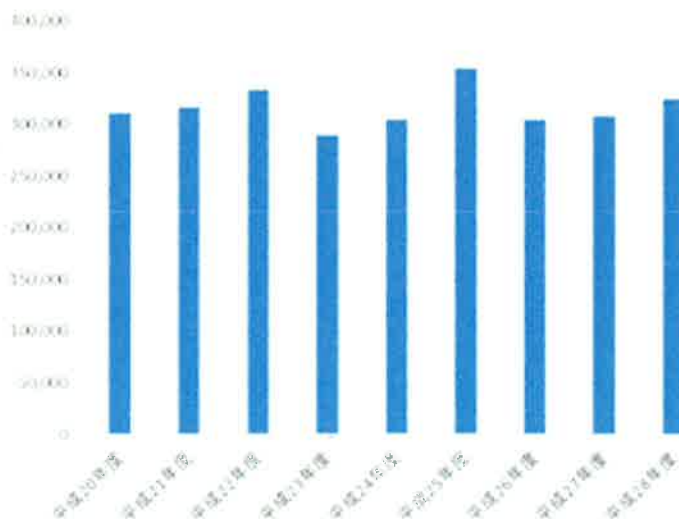
地区別実績額

京都市内 地区	金額
北 区	11,041,314
上京区	8,510,790
左京区	15,304,639
中京区	11,590,005
東山区	5,357,260
山科区	11,970,937
下京区	7,456,330
南 区	7,796,916
右京区	16,673,172
西京区	11,050,601
伏見区	20,162,400
合計①	126,914,364

広域振興局 地区	金額
山城(乙訓)	1,389,907
山城(山城北)	3,477,009
山城(山城南)	3,636,745
南 丹	2,285,997
丹 後	3,007,264
合計③	13,796,922
地区計(①+②+③)	221,446,243
支部扱	103,509,270
合計	324,955,513

京都府内 地区	金額
宇治市	9,874,388
亀岡市	9,140,444
綾部市	4,696,200
福知山市	8,121,323
宮津市	1,911,701
舞鶴市	7,674,323
城陽市	6,471,720
向日市	3,130,350
長岡京市	5,016,906
八幡市	2,876,516
京田辺市	4,832,716
京丹後市	6,545,940
南丹市	4,955,490
木津川市	5,486,940
合計②	80,734,957

活動資金収納額の推移



1 1. 赤十字思想の普及・広報活動

(1) 赤十字月間キャンペーンの実施

5月は、赤十字の創始者アンリー・デュナンの生誕月、日本赤十字社の前身である博愛社創立の月ということから、日本赤十字社では、この5月を「赤十字運動月間」として毎年全国一斉に社員増強運動を展開し、赤十字思想の普及や啓発・広報活動に努めています。京都府支部においても、赤十字運動について一人でも多くの皆様の理解と協力をいただくため、様々な取り組みを下表(2)～(4)のとおり積極的に行いました。

(2) イベント・キャンペーン開催・参加状況

名称	期日	場所	啓発物配布
ひろげよう赤十字の輪(和)	5/8	京都駅前地下街ポルタプラザ	4,000
まいづる田辺城まつり	5/22	舞鶴市田辺城舞鶴公園	600
東山区民ふれあいひろば2016	5/22	開晴館グラウンド	200
北区民春まつり	6/5	京都府立清明高等学校グラウンド	200
左京区民ふれあいまつり2016	7/31	京都市勧業館「みやこめっせ」	100
伏見区民ふれあいプラザ2016	9/4	京都パルスプラザ(京都府総合見本市会館)	100
上京区民ふれあいまつり2016	10/30	京都市立北総合支援学校	500
中京区民ふれあいまつり2016	10/30	京都市立中京中学校グラウンド	1,000
右京区民ふれあいフェスティバル2016	11/12	太秦安井公園	500
下京区ふれ愛ひろば	11/13	梅小路公園	1,000
南区ふれあいまつり	11/13	東寺(教王護国寺)境内	200
ふれあい“やましな”2016区民まつり	11/23	山科中央公園	100
あすのKyoto・地域創生フェスタ	11/23	京都府立植物園	500
「私たちは、忘れない。」～未来につなげるプロジェクト～	3/5	イオン福知山店	1,500

※上記以外にも地区独自で地域の各種催し等に啓発ブース等の参画をされています。

(3) 広報活動の展開

広報内容	期間	場所	備考
車両ドア横広告	5月 (1か月間)	JR西日本	第4(近畿)ブロック合同事業
駅貼り広告 (ポスター)		JR西日本、近鉄、南海、京阪、 阪急、WILLER TRAINS(旧KTR)、京都市地下鉄	第4(近畿)ブロック合同事業 (WILLER TRAINS、京都市地下鉄は京都府支部単独事業)
KBS京都テレビスポット			15秒スポット(通年)
ケーブルテレビ		京丹波町	
在阪4テレビ局(毎日、朝日、関西、読売)			第4(近畿)ブロック合同事業(通年) ※滋賀県支部除く
KBS京都、FM京都、FMあやべラジオ放送			KBS京都、FMあやべのラジオ放送は通年
日赤広報チラシの配布	4~5月	府内全域	地区・分区を通じて配布
立て看板の設置	5/1~31	支部	
市民新聞等による広報	4~5月	各地域の啓発(23地域)	地区に依頼
府民だよりによる広報	8月	府内全域	H27決算を掲載
パネル展示	5/22~5/29	左京区役所	
	5/25~29	京田辺市役所	
	5/29~6/5	上京区役所	
	5/9~13	右京区役所	
	5/6~20	左京区役所	
	7/23	京都第一赤十字病院	病院フェスティバル(キッズセミナー)
	7/31	西京極スタジアム	上京サンガデー
	8/6	市立鷹峯小学校	鷹峯学区ふれあいまつり
	8/17~31	献血ルーム京都駅前	
	9/4	京都文教大学	H28宇治市防災訓練日赤ブース
	9/4~8	京都府立嵯峨野高等学校	文化祭
	9/5~7	京都府立鳥羽高等学校	文化祭
	9/14~16	華頂女子高等学校	文化祭
	10/9	京都市立仁和小学校	仁和まつり(赤十字奉仕団ブース)
11/6	宇治市総合福祉会館	2016宇治福祉まつりRC京都宇治支会によるブース出展	

(4) マスコットキャラクター「ハートラちゃん」着ぐるみ出動状況

名称	期日	場所	備考
ひろげよう赤十字の輪(和)	5/8	京都駅前地下街ポルタプラザ	
まいづる田辺城まつり	5/22	舞鶴市田辺城舞鶴公園	
防災の歌「まもる いのち ひろめる ぼうさい」		YouTube・DVD(JRC加盟校配付)	7月配信
病院フェスティバル(キッズセミナー)	7/23	京都第一赤十字病院	
左京区民ふれあいまつり2016	7/31	京都市勧業館「みやこめッセ」	
あすのKyoto・地域創生フェスタ	11/23	京都府立植物園	
有功会小児科病棟激励	12/21	京都第二赤十字病院	
有功会小児科病棟激励	12/22	京都第一赤十字病院	
京都市成人の日記念式典	1/9	京都市勧業館みやこメッセ	RCYブース
「私たちは、忘れない。」～未来につなげるプロジェクト～	3/5	イオン福知山店	



「私たちは、忘れない。」～未来につなげるプロジェクト～

JRC高校生メンバーと記念撮影

資 料

平成28年度の主な行事

赤十字大会の開催

全国赤十字大会 熊本地震災害にかかる救護活動のため開催中止

評議員会

実施日	場 所	議 案
6/14	京都府支部	支部・施設の平成27年度決算等
2/13	京都府支部	支部・施設の平成29年度予算等

業務・会計監査

実施日	施 設 名
6/7	京都第二赤十字病院、舞鶴赤十字病院
6/1	京都第一赤十字病院、京都府支部

年 月 日 (曜)	行 事	開 催 場 所
4月29日(金・祝)	有功会熊本地震災害復興支援ゴルフコンペ	舞鶴市
5月1日(日)～31日(火)	赤十字運動月間	京都府内一円
5月8日(日)	啓発キャンペーン「ひろげよう赤十字の輪(和)」	京都駅前地下街 ポルタプラザ
5月21日(土)	啓発キャンペーン「ひろげよう赤十字の輪(和)」	舞鶴市 (まいづる田辺城)
6月1日(水)～2日(木)	赤十字奉仕団中央委員会	日本赤十字社本社
6月14日(火)	京都府支部評議員会	京都府支部
8月6日(土)～8日(月)	京都府青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター	宇治市 (アクトパル宇治)
8月11日(木)	京都府支部救護班要員基礎研修会	京都第一赤十字病院
8月27日(土)	高浜地域における内閣府・3府県及び関西広域連合合同原子力防災訓練	京丹波町
9月3日(土)	京都市総合防災訓練	京都市下京区
9月4日(日)	京都府総合防災訓練	南丹市

年 月 日 (曜)	行 事	開 催 場 所
9 月 4 日 (日)	福知山市地域防災訓練	福知山市
9 月 4 日 (日)	宇治市総合防災訓練	宇治市
1 0 月 6 日 (木)～7 日 (金)	日赤紺綬・有功会会長協議会総会	京都市中京区
1 0 月 1 5 日 (土)～1 6 日 (日)	災害救護ロジスティックス合同研修	府立ゼミナールハウス
1 0 月 2 0 日 (木)～2 1 日 (金)	全国支部事務局長会社業振興特別委員会	愛知県
1 0 月 2 6 日 (水)	有功会総会	京都市下京区
1 1 月 1 1 日 (金)	赤十字奉仕団京都府支部委員会	京都府支部
1 1 月 2 0 日 (日)	長岡京市防災訓練	長岡京市
1 1 月 2 7 日 (日)	支部管内合同訓練	京丹波町
1 2 月 1 日 (木)～2 5 日 (日)	第34回「NHK海外たすけあい」運動	京都府一円
1 2 月 2 日 (金)	京都刑務所総合防災訓練	京都市山科区
1 2 月 1 0 日 (土)	「NHK海外たすけあい」街頭募金キャンペーン	京都市下京区
1 2 月 1 8 日 (日)	伏見区防災訓練	京都市伏見区
1 月 1 6 日 (月)	赤十字奉仕団京都府支部委員会	京都市中京区
1 月 1 8 日 (水)	日赤地区長会議 (京都市内地区)	京都市役所
2 月 2 日 (木)	京都府国民保護共同実働訓練	京都市東山区
2 月 3 日 (金)	日赤副地区長会議 (京都市内地区除く)	京都府支部
2 月 1 3 日 (月)	京都府支部評議員会	京都府支部
3 月 2 日 (木)	第4ブロック赤十字奉仕団委員長会議	滋賀県
3 月 9 日 (木)	第4ブロック理事会	大阪府

表 彰

表章区分		表彰基準	個人 (人)	法人 (社・団体)	合計
活動資金	紺 綬 褒 章	500 万円以上 (個人) 1,000 万円以上 (法人)	4	0	4
	厚生労働大臣感謝状	100 万円以上 500 万円未満 (個人)	4	2	6
		300 万円以上 1,000 万円未満 (法人)			
	社資功労感謝状	金色有功章受章後 50 万円以上	2	3	5
	金 色 有 功 章	50 万円以上	7	1	8
	銀 色 有 功 章	20 万円以上	5	4	9
	支 部 長 感 謝 状	10 万円以上	9	6	15
	小計		31	16	47
役 職	金 色 有 功 章	在職年数6年以上 他	7	0	7
	銀 色 有 功 章	在職年数3年以上 他	11	0	11
	小計		18	0	18
奉仕団員等 奉仕者	業務功労感謝状	金色有功章受章後 活動年数10年以上	5	9	14
	金 色 有 功 章	活動年数20年以上	41	7	48
	銀 色 有 功 章	活動年数15年以上	28	2	30
	支 部 長 感 謝 状 2	活動年数10年以上	60	1	61
	支 部 長 感 謝 状 1	活動年数5年以上	75	0	75
	小計		210	19	229

役職員名簿

(平成29年6月1日現在)

京都府支部

支部長 山田啓二
副支部長 小石原範和
" 汐見明男

監査委員 柏原康夫
" 武田盛治
" 渡邊隆夫
顧問 門川大作

事務局長 山田清司
総務課長 奥藪俊夫
組織振興課長 牛田順子
事業推進課長(兼) 奥藪俊夫
参事 松本哲
調整監 山田二三男

京都第一赤十字病院

院長 池田栄人
副院長 吉田憲正
" 福田互
" 塩飽保博
事務部長 田中準一
看護部長 中島路子

京都第一赤十字看護専門学校

学校長(兼) 池田栄人
副学校長 小松智子
事務部長(兼) 田中準一

京都第二赤十字病院

院長 小林裕
副院長 安田健治朗
" 谷口弘毅
" 長村敏生
事務部長 栗山元伸
看護部長 田中千代美

京都第二赤十字看護専門学校

学校長(兼) 小林裕
副学校長 小田初美
事務部長(兼) 栗山元伸

舞鶴赤十字病院

院長 西田和夫
副院長 加藤宣誠
" 片山義敬
事務部長 上山勇治
看護部長 佐竹孝恵

京都府赤十字血液センター

所長 辻肇
事務部長 森原久紀

評 議 員 名 簿

(平成29年6月1日現在)

地 区	氏 名	地 区	氏 名
北 区	石 田 儀 雄	福 知 山 市	大 橋 一 夫 谷 垣 均
上 京 区	木 下 博 視 赤 井 英 俊	宮 津 市 舞 鶴 市	井 上 正 嗣 多々見 良 三 倉 橋 貢
左 京 区	戸 川 隆 博 風 間 隨 成 平 賀 太 郎	城 陽 市 向 日 市	奥 田 敏 晴 安 田 守
中 京 区	山 科 文 子	長 岡 京 市 八 幡 市	中 小 路 健 吾 堀 口 文 昭
東 山 区	名 和 準 三 高 垣 慶 嗣	京 田 辺 市 京 丹 後 市	石 井 明 三 三 崎 政 直
山 科 区	◇ 澤 田 清 一 進 藤 靜 治	南 丹 市 木 津 川 市	佐々木 稔 納 河 井 規 子 山 本 圭 一 信 貴 康 孝 西 谷 信 夫 木 村 要
下 京 区	大 岩 英 雄 勝 間 昇	山 城	寺 尾 豊 爾 山 添 藤 真
南 区	石 原 國 男 駒 田 忠 雄	南 丹 後 支 部 長 選 出	○◇ 武 居 桂 ◇ 今 井 民 雄 ◇ 横 山 義 雄 ◇ 村 田 秀 太 郎 小 林 佑 年 溝 江 幸 太 郎 阪 口 桂 子 川 部 松 夫 三 好 通 弘 足 達 靖 彦
右 京 区	市 田 悦 万 山 口 正 清 守 屋 忠 敏		
西 京 区	関 谷 一 男 田 畑 たつ子		
伏 見 区	田 中 震 治 林 重 宜 森 野 隆 男		
宇 治 市	山 本 正 俣 政 和		
亀 岡 市	桂 川 孝 裕		
綾 部 市	山 崎 善 也		

(順不同・敬称略)

本社役員等 ○理事 ◇代議員

(計56名)

日本赤十字社京都府支部 地区・分区組織図

平成29年 4月 1日現在

日本赤十字社京都府支部
(支部長 山田啓二)

京都市内	11地区
京都市を除く市	14地区
府振興局	3地区
計	28地区
	11分区
	11分区

京都市地区本部
(本部長 京都市副市長)

北区地区	(北区長)
上京区地区	(上京区長)
左京区地区	(左京区長)
中京区地区	(中京区長)
東山区地区	(東山区長)
山科区地区	(山科区長)
下京区地区	(下京区長)
南区地区	(南区長)
右京区地区	(右京区長)
西京区地区	(西京区長)
伏見区地区	(伏見区長)
京都市	11地区

宇治市地区	(宇治市長)
亀岡市地区	(亀岡市長)
綾部市地区	(綾部市長)
福知山市地区	(福知山市長)
宮津市地区	(宮津市長)
舞鶴市地区	(舞鶴市長)
城陽市地区	(城陽市長)
向日市地区	(向日市長)
長岡京市地区	(長岡京市長)
八幡市地区	(八幡市長)
京田辺市地区	(京田辺市長)
京丹後市地区	(京丹後市長)
南丹市地区	(南丹市長)
木津川市地区	(木津川市長)
14市	14地区

山城(乙訓)地区	(山城広域振興局長)	大山崎町分区
山城(山城北)地区	(山城広域振興局長)	久御山町分区、井手町分区、宇治田原町分区
山城(山城南)地区	(山城広域振興局長)	笠置町分区、和束町分区、精華町分区、南山城村分区
南丹地区	(南丹広域振興局長)	京丹波町分区
丹後地区	(丹後広域振興局長)	伊根町分区、与謝野町分区
3振興局	3地区 (5保健所)	11町村 11分区

施設一覽

- **日本赤十字社京都府支部**
〒605-0941
京都市東山区三十三間堂廻り町644 TEL 075 (541) 9326
ホームページ <http://www.redcross-kyoto.jp>

- **京都第一赤十字病院**
〒605-0981
京都市東山区本町15-749 TEL 075 (561) 1121
ホームページ <http://www.kyoto1-jrc.org>

- **京都第一赤十字看護専門学校**
〒605-0981
京都市東山区本町15-749 TEL 075 (533) 1269
ホームページ http://www.kyoto1-jrc.org/vocational_school/

- **京都第二赤十字病院**
〒602-8026
京都市上京区釜座通丸太町上る春帯町355-5 TEL 075 (231) 5171
ホームページ <http://www.kyoto2.jrc.or.jp>

- **京都第二赤十字看護専門学校**
〒602-8015
京都市上京区衣棚通出水下る常泉院町133-3 TEL 075 (441) 2007
ホームページ <http://www.kyoto2.jrc.or.jp/nursing/>

- **舞鶴赤十字病院**
〒624-0906
舞鶴市倉谷427 TEL 0773 (75) 4175
ホームページ <http://maizuru.jrc.or.jp>

- **京都府赤十字血液センター**
〒605-0941
京都市東山区三十三間堂廻り町644 TEL 075 (531) 0111
ホームページ <http://www.kyoto.bc.jrc.or.jp>
 - 四条出張所 (献血ルーム四条)
〒600-8006
京都市下京区四条通柳馬場西入立売中之町99
四条SETビル5階 TEL 0120 (640) 388

 - 京都駅前出張所 (献血ルーム京都駅前)
〒600-8216
京都市下京区烏丸通七条下ル東塩小路町735
京阪京都ビル6階 TEL 0120 (569) 356

 - 伏見大手筋出張所 (献血ルーム伏見大手筋)
〒612-8053
京都市伏見区東大手町763若由ビル1階 TEL 0120 (731) 350

 - 福知山出張所
〒620-0853
福知山市長田野町1-31-1 TEL 0773 (27) 6630

平成28年度事業報告書

発行 平成29年6月12日

発行元 日本赤十字社京都府支部

住所 京都市東山区三十三間堂廻り町644

TEL 075-541-9326 (代表)

FAX 075-541-1361